

高病原性鳥インフルエンザの 高リスクシーズン前に対策を!!

今シーズン(2021~2022年)の高病原性鳥インフルエンザ発生から、
来シーズン(2022~2023年)発生予防・まん延防止対策の強化・徹底について
ポイントをまとめました。参考にしてください。

★来シーズンも国内ウイルス侵入が懸念されます

今シーズンは欧州、北米、アジアで発生、欧州では8月まで発生継続

★渡り鳥の飛来が始まった時点で国内にウイルスが侵入している

飛来時期から発生予防に努めることが重要

★カラス、オジロワシ、キツネやタヌキも感染源

今シーズンは感染野鳥を食べる小型・中型哺乳類でもウイルス確認

★鶏舎外は汚染エリア！

全従事者が鶏舎内にウイルス持ち込まない対策を徹底

引き続き飼養衛生管理基準を遵守し、
発生予防に努めましょう！！

(1) 農場へのウイルス侵入防止対策

- 野鳥を近寄せない
農場内及び農場周囲に水域があれば、水を抜く等の対策を
- 死亡鶏の適切な保管・処理
死亡鶏も野生動物の餌になります！
蓋つきの箱に入れる、防鳥ネットをかける等の対策を徹底

(2) 鶏舎へのウイルス侵入防止対策

- 鶏舎内用の長靴への履き替え、手指消毒・手袋の交換を徹底
- 日常的に鶏舎の破損等を点検し、修繕
- 換気扇の開口部には金網等を設置し、ネズミの侵入を防ぐ

参考：農林水産省ウェブサイト

URL：https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html

異状があれば**直ちに中央家畜保健衛生所へ連絡**をお願いします。

電話番号：058-201-0530

時間外・夜間・休日：090-7024-5269

